



# エコ1チャレンジカップ車検手順

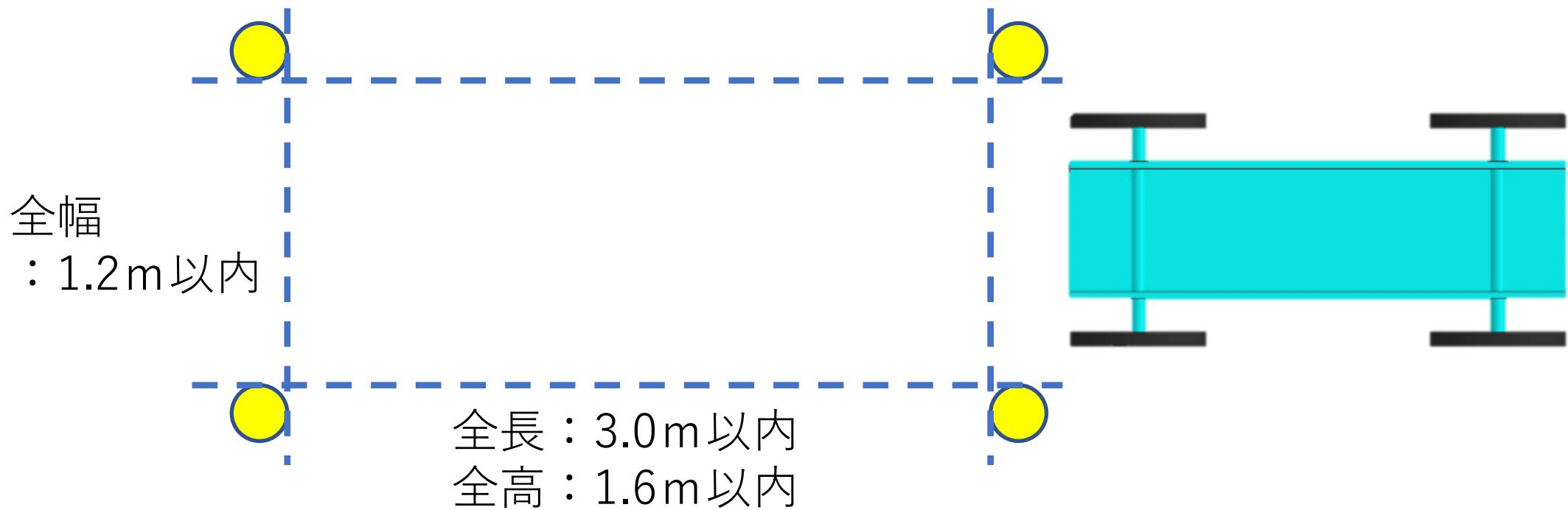
- ①車体サイズ確認
- ②ドライバー確認（登録、服装、ヘルメット確認）
- ③構造確認（常時3輪以上が接地し静止時に自立出来る）
- ④ミラーチェック
- ⑤バッテリー搭載確認＆ショート対策（端子保護）
- ⑥配線確認
- ⑦高速回転力バー確認
- ⑧ブレーキ確認



# エコ1チャレンジカップ車検手順

## ①車体サイズ確認

サイズ確認マーク内に収まる事





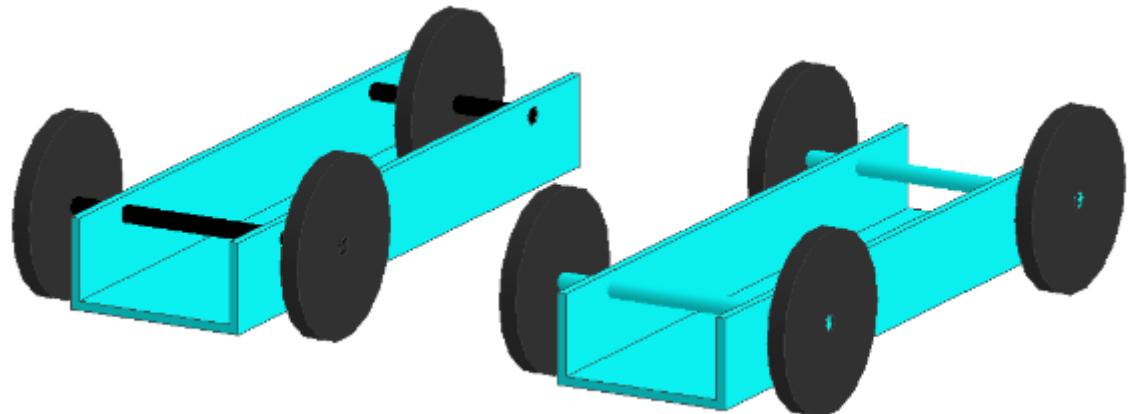
# エコ1チャレンジカップ車検手順

- ②ドライバー確認（登録、服装、ヘルメット）
- ・ドライバーに変更がある場合は車検時に申し出て下さい  
※全ドライバーは『ドライバーズマニュアル』を熟読しておいて下さい
  - ・長そで、長ズボン、グローブ、シューズ確認します
  - ・ヘルメット確認（ジェット型またはフルフェイス）  
※ミラーチェック時のみ装着して下さい  
※感染症対策の観点から、装備は一人1セットの準備を推奨いたします



# エコ1チャレンジカップ車検手順

③構造確認（常時3輪以上が接地し、静止時に自立可能）  
安全確保の為、3輪以上で自立できる事  
※停止時に自立できないと転倒の恐れがある



常時3輪以上接地であっても  
自立できない場合はNG

○：常時3輪以上接地で自立可能

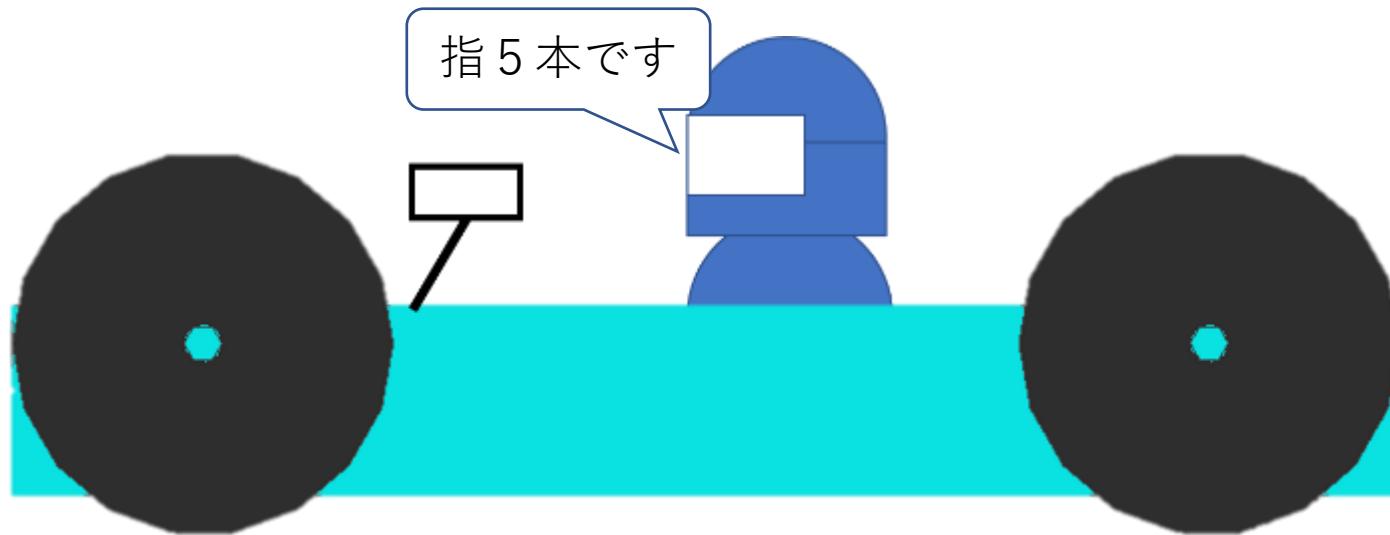
×：3輪以上接地無し  
または自立不可能



# エコ1チャレンジカップ車検手順

## ④ミラーチェック（後方確認）

後方の車両を正しく確認できるかミラーチェックします  
キッチンと見えるようにミラー調整しておいて下さい



車検員が後方で指を示します  
指の本数を答えて下さい

走行中は『目視』 & 『ミラーチェック』で周囲をよく確認しましょう



# エコ1チャレンジカップ車検手順

## ⑤バッテリー搭載確認 & ショート対策（端子保護）

バッテリー固定が不十分だと走行中落下など大変危険

※バッテリーは重量物のため、キッチンと固定できていないと走行中に脱落の危険があります

### <推奨バッテリー搭載方法>

- ・バッテリーをふた付きのプラスチックケース等に入れる  
※隙間は緩衝材などで埋めて動かないようする

- ・更にケースを車体に固定する

車体にはボルト固定、ケースにはナイロンベルト等での固定を推奨

### <バッテリーサイズ>

113mm×70mm×高さ85mm／個



# エコ1チャレンジカップ車検手順

- ⑤バッテリー搭載確認 & ショート対策（端子保護）  
バッテリーには+と-の端子部があります



## <端子保護>

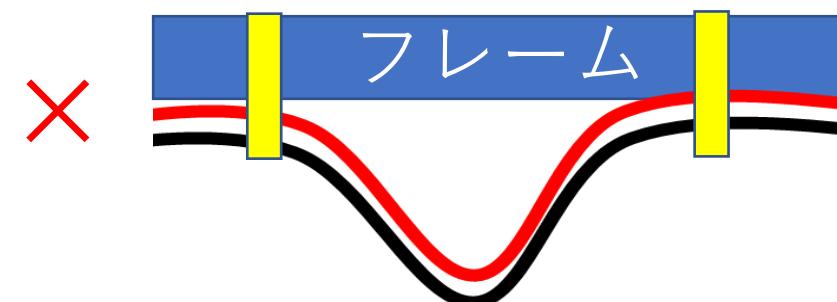
バッテリーの端子が露出している状況は  
とても危険です（持ち運び時も）  
絶縁テープなどで  
+、-端子部を覆って、ショートしないように  
保護しましょう



# エコ1チャレンジカップ車検手順

## ⑥配線確認

電気配線が『ブラブラ遊ばない』ように固定して下さい  
引っかけなどによる断線、ショート、感電の恐れ  
があります



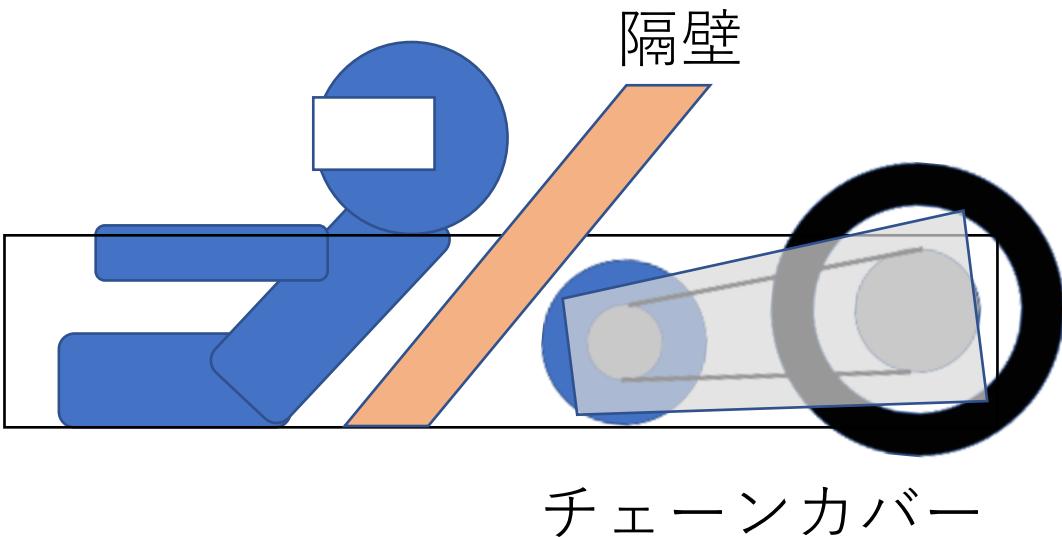
絶縁テープ、タイラップなどで  
まとめましょう  
※ドライバー乗り降り時の引っかけ注意！



# エコ1チャレンジカップ車検手順

## ⑦高速回転カバー確認

モーター、チェーン、スプロケット、ギヤなどの  
高速回転体にカバーが無いと  
ドライバー乗降時の巻き込まれ、配線巻き込まれ危険



### <アドバイス>

- ・チェーンカバーなど回転部を保護する
- ・ボディカウルや隔壁を設置して  
ドライバーが巻き込まれないようにする

※特に足元と高速回転体が近い場合は要注意  
カバーMUST、ズボン裾注意、配線固定

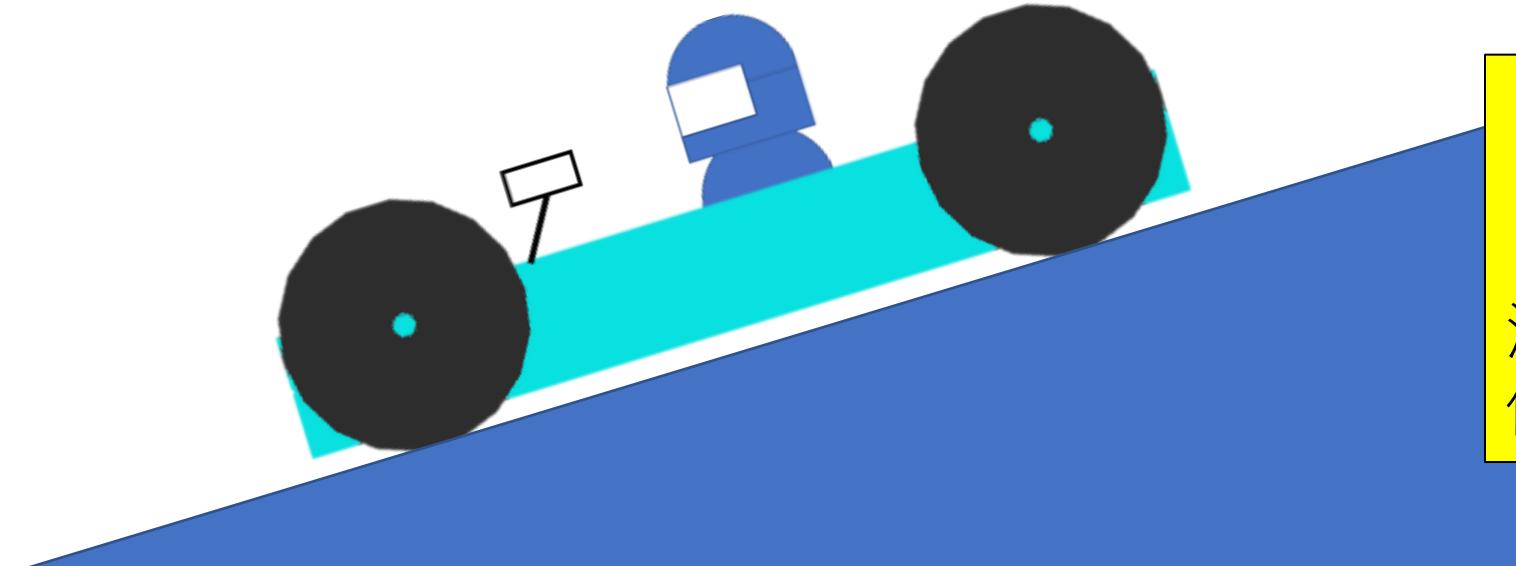


# エコ1チャレンジカップ車検手順

## ⑧ブレーキ確認

ブレーキにて安全に停止出来る事を確認

スロープ部にてタイヤをまっすぐ向けて実施



**<アドバイス>**  
自転車用リムブレーキの場合  
リムをしっかり拭きましょう  
油分が残っていると制動力が  
低下します